



38 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号
ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：鳥居和久/幹事：須田幸史朗/SAA：山本隆一

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

特別会報 2月号

1月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休会

第<1736回> 2022年1月18日 本年度第 21回

第<1737回> 2022年1月25日 本年度第 22回

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、臨時休会

第<1738回> 2022年2月 1日 本年度第 23回

第<1739回> 2022年2月 8日 本年度第 24回

第<1740回> 2022年2月15日 本年度第 25回

前回の報告

会長インフォメーション PRESIDENT INFORMATION 会長：鳥居 和久

皆さん こんにちは。2022年の年明けからオミクロン株の感染拡大が凄まじく、2月になっても収束の兆しが見えません。会員の皆様には大変申し訳ございませんが、例会再会まで今しばらくお待ちくださいますよう、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。

さて、日本時間の4日夜9時から始まった北京オリンピックの開会式は、2008年の夏の北京オリンピックと同じ映画監督の演出で「1つの世界、1つの家族」をテーマに「国家スタジアム」（通称「鳥の巣」）で行われました。開会式は良くも悪くも注目を集める内容でしたが、会場の外の厳戒態勢の様子と会場内の演出とがかけ離れて違和感を覚えた方もおられたのではないのでしょうか。

ところで、ノルディックスキー・ジャンプ混合団体で

不可解のことが起こりました。高梨沙羅選手の1本目のジャンプがスーツの規定違反で失格になり、1本分の得点が取り消されたというのです。それも、同じ失格者がドイツ、オーストリア、ノルウェーという強豪の中でも出たというのです。そんなことがオリンピックという大舞台で起こるなんて信じられませんでした。選手が悪いようにはとても思えません。本当に残酷で、2回目のジャンプをどんな気持ちで飛んだのでしょうか。胸が締めつけられる思いです。

それでも小林陵侑選手は各国のエースがそろって4人目で2回ともトップで、失格になった強豪国の中で、最後までメダルの可能性を残したのは日本だけでした。モチベーションを保ったまま、残るラージヒル個人と団体戦に臨めば最高の結果がついてくると思っています。頑張れニッポン。

平和と紛争予防/紛争解決月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「心機一転 Turn over a new leaf=新しいページをめくる」

鶴見ロータリーの会員の皆様お元気でしょうか?幹事の須田です。

オミクロン株の感染により取引先が休業したり子供の幼稚園が休園になったりと公私共に影響が出ております。一体この状況いつまで続くんでしょうね?この原稿を書いている2月8日のNHKのアサイチという番組にCPAOの徳丸さんがVTRで出演されていました。コロナ禍の生活で家出する子供が多いとの内容でした。一刻も早く平常に戻る事を願うばかりです。

先日理事会がありまして決定事項を掲載させて頂きました。

- 1.今後の例会運営について、2月は休会、以降はコロナ感染状況を踏まえて、会長・幹事で相談して決めることとなりました。
- 2.ロータリーデイ実行委員会の立ち上げについて、山崎修一会員を準備・実行委員長にお願いすることに決まりました。
- 3.会計報告(11月・12月)承認されました。

次年度幹事報告

副幹事:稲垣 良二

- 1.次年度役員について、一部の役職について確認して最終決定することとなりました。
- 2.米山奨学生について、「受け入れを希望しない」と地区へ回答しました。
- 3.次年度の活動について、「さつまいもP」は行事予定には入れず終息する方向で検討。「アーモンドの森」は今後検討。「作文コンクール」は活動する方針。「鶴見区民まつり」については、参加しない方向で進める。次年度は会員増強に注力したい。

広報・IT・会報・雑誌委員会報告

「ロータリーの友」1月号記事紹介 委員 源 壽美子

【横組み記事より】

P.5 [シェカール・メータRI会長メッセージ:親愛なるチェンジメーカーの皆さん

(RI指定記事)

今月は「職業奉仕月間」です。職業奉仕は文字通り仕事通して世の中に奉仕することですが、二つの視点があります。一つは日々の仕事に誠意をもって励むことで、いわば直接的な職業奉仕であり、もう一つは職業を生かして行う

奉仕活動で、いわば間接的な職業奉仕です。医師が毎日患者に寄り添い診療を行うのは直接的職業奉仕であり、出前授業で子供達に医療の重要性和命の尊さを教え、将来の日本を支える人材を育成するのは間接的職業奉仕です。

メータ会長は、自らも、2004年のスマトラ島沖地震で壊滅的被害を受けたインドで、建築に携わる職業人として500戸の住宅を建設した経験を踏まえ、間接的職業奉仕の実践、すなわち職業を生かして世界で良いことをしようと呼び掛けています。世界の失業者数は女性と若者を中心に2022年には2億人を超えると言われていますが、これらの人々のための再就職の訓練は重要で、世界のロータリークラブでセミナーの開催等様々な取り組みが行われています。みんなの人生を豊かにするための奉仕の中で職業上のスキルを活用して欲しい。メータ会長の思いが伝わります。

P.7~13 [特集:職業奉仕月間-コロナ禍における私の職業奉仕]

コロナ禍に最もしわ寄せが行くのは立場の弱い人々です。この特集では、在留外国人、学生、言葉を発することが出来ないペットに心を寄せ、職業を通して奉仕を実践する3名のロータリアンが直面する問題とロータリアンに出来ることを語ります。

最初は鎌倉で在留外国人の支援に奔走する鎌倉中央RCの山口道孝会員です。コロナ禍で生活が困窮する母子家庭を中心とする外国人100世帯に生活物資を届ける山口さんの「頑張って、諦めないでと声をかけ続けるロータリアンでいたい」との言葉が心に響きます。

二人目は、自ら経営する学校法人でコロナ禍の直撃を受け、就職や学資に悩む学生に寄り添う新潟南RCの渡辺敏彦会員です。渡辺さんは常に「四つのテスト」を心がけ、教育現場でも外国人留学生への支援が急務であり、ロータリーの支援を呼びかけています。

三人目は、横浜郊外4か所でペット診療所を経営し、コロナ禍のペットへの影響に心を痛める横浜旭RCの兵藤哲夫会員です。犬猫譲渡活動を46年続ける兵藤さんが、コロナ禍でペットを手放す事例をあげ、コロナ禍とペットブームについて語ります。

P.20~21 [PICK OUT PROJECT:ローターアクター奮闘記 男子、生理用品を買う!?]

当地区、大阪西南ローターアクトクラブ(RAC)の活動の紹介です。大阪西南RACでは、助産師のローターアクターが中心となり性や生殖についての勉強会を実施していますが、その一環としてドラッグストアで生理用品を購入する体験をした男性ローターアクター2名のレポートです。「性にオープンな社会が求められるのであれば、性の問題は恥ずかしいもの、触れにくいものではなく、人々

が当たり前のように知識を持ち、男女双方が互いに思いやりを持って気遣い向き合ってゆく社会環境の構築が必要である」とのコメントに考えさせられます。

【縦組記事より】

P.4~8 [CSR/SDGsの時代に考える職業奉仕]

2020年12月3日に開催された2580地区(東京・沖縄)地区研修会での大阪学院大学経済学部教授 森田健司氏の講演要旨です。

昨今、経営理念としてCSR(企業の社会的責任)やSDGs(持続可能な開発目標)を掲げる企業が多いですが、これらは利益追求が達成された後に目指すべきものというのがこれまでの現代経営学の教えでした。しかし近江商人に代表される江戸時代の商人は「自分たちの商売がより良い社会を作り、平和な世の中を持続するのに資するか、すなわちCSRやSDGsを意識して商売をする事こそが重要である」との哲学を持っていました。江戸時代の思想家 石田梅岩は石門心学と称される思想を確立し、1744年当時ベストセラーになった「齊家論」という書にまとめました。全ての商行為は公益を考えて行うものであり、自分だけがもうかれれば良いという考えは戒められるべきである、という石門心学は江戸時代の全国の商人に広がり、後世アジアでは稀有ともいえる日本の近代化に貢献しました。石門心学はロータリーの職業奉仕の背景にある「He profits most Who serves best」の考え方そのものです。今から300年近くも前にCSRやSDGsの考え方を先取りし、現代の経営者に先駆けて実践した江戸商人に大いに学ぶべきである。

ロータリーの職業奉仕を進める時は是非参考にして欲しいとの森田教授の言葉に心を打たれます。

P.20~24 [ロータリーアットワーク]

全国各クラブの活動を写真と記事で紹介するコーナーです。22ページに当地区高槻東RCが実施した地元の小中学校への環境学習支援プロジェクトが、23ページには大阪天王寺RCが実施した真田丸跡地の散策と清掃奉仕プロジェクトが掲載されています。

「ロータリーの友」 2月号記事紹介 委員長 山崎 修一

2月号の紹介記事を二つに絞って、少し詳しく紹介させていただきます。

☆横組み記事P.5

【シェカール・メータRI会長メッセージ】

2月23日はロータリーの創立記念日です。今から117年前のこの日、青年弁護士ポールハリスは友人3人とア

メリカ シカゴでロータリーを設立しました。メータ会長は、これを機会にロータリー奉仕デーを実施するよう呼び掛けています。

ロータリー奉仕デーは、ロータリーの重点分野(平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境の7分野)に含まれる地域社会の課題にロータリーファミリーだけではなく、他のボランティアの人々も一緒に取り組もうというものです。インドの糖尿病に対する奉仕事例が紹介されており、大変参考になります。

☆横組み記事P.8~10

【青少年交換、その始まりの物語】

日本で初めての青少年交換留学生は1962年1月に久留米RCからオーストラリアのメルボルンへ派遣された関本(旧姓宮崎)洋子さんです。追って同年2月に8名がシドニーに派遣されました。

一方、翌1963年5月にはシドニーからエンジェル君が来日、熊本RCが受け入れ日豪青少年交換プログラムがスタートしました。

プログラムはドナルド・ファーカー(通称ドン)という一人のオーストラリア人の献身的な努力で実現しましたが、その裏には感動の物語がありました。ドンは第二次世界大戦で空軍兵士として日本と戦い目を負傷し失明しました。光を失った苦悩と絶望を越え、過去を許しロータリアンとして新たな希望にチャレンジするドンとそれに応えた日本のロータリアン達。ぜひご一読ください。

今月の表彰とお祝い

◆誕生日

吉羽 潤司 浮舟 邦彦
水間 頼孝 谷 康平

◆在籍年数

35年 中村 浩一、 24年 広瀬 芳和
24年 広瀬 芳和、 7年 源 壽美子

◆ホームクラブ10回連続賞

なし

◆結婚記念日

2月3日 吉羽 潤司
2月13日 中村 浩一

◆事業所創立日

2月1日 覚野 廣久
2月4日 谷 康平

各会員

担当:清水会員

卓話

職業奉仕と職業倫理

担当：菊井会員

1905年 ポール・ハリス シカゴロータリークラブ創立

1910年 シカゴ 全米ロータリークラブ連合会結成
ロータリークラブの目的採択

ロータリークラブの目的採択

第4講 進歩的で尊敬すべきそれまでは異なる職業を利用した実業互惠と親睦の2つがクラブ方針商取引の方法をロータリーの歴史上、職業倫理を言った最初の公式文書を推進すること シェルドンらの働きかけ

当時の商取引は「無秩序とも言える身勝手な自由競争が横行し、誇大広告や虚偽広告は当たり前、詐欺的な取引や不法な取引が横行し、騙すより騙される方が悪い、金を儲けた者が成功者としてもてはやされた時代」だった。そういう社会状況の中で、「ロータリアン同士の親睦と信頼の上に立って、互いを裏切らない取引をしよう」という考え。

1912年 国際ロータリークラブ連合会の「ロータリー(クラブ)の目的」

- 全ての合法的職業は価値あるものであるという認識を深めること
- 会員各自の職業を高潔なものにすること
- 事業および専門職務の道徳的水準を高めるよう奨励すること

1912年からイギリスが加入した→「高貴なる者は公共の福祉を寄与すべき」

「職業は神聖な天職であり、道徳的で高潔なものであるべき」というイギリス流の考え方が色濃く反映された。

1915年サンフランシスコ国際大会 「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」採択

このロータリー倫理訓は、心あるロータリアンの職業上の実践や倫理観をまとめた11箇条として「道徳律(職業倫理訓)」とも呼ばれる。

日本

「道徳律(職業倫理訓)」は日本に大きな影響を及ぼした「道徳律(職業倫理訓)」の理念を日本に根付かせたのは、満洲大連クラブの古沢文作「ロータリーの目的」と「道徳律(職業倫理訓)」の真髓を格調高い日本語で5ヶ条

に書き改めたものが、1928年(昭和3年)の「大連ロータリークラブのロータリー宣言」。この宣言が、戦前の日本のロータリアンにおける職業奉仕のバックボーンになった。

1931年 道徳律(職業倫理訓)は、その内容の厳しさと表現が宗教的であるとい理由から、当初から批的的な勢力も少なからずあったが、こうした声の広がりを受けて、「道徳律(職業倫理訓)」の宣伝・領布が中止され、1951年には、その内容がロータリーのあらゆる文書から姿を消した。

現在では、「道徳律(職業倫理訓)」は歴史的文献として扱われ、R Iの公式資料には掲載されていない。

「道徳律(職業倫理訓)」の衰退とともに、職業奉仕そのものも徐々に冷遇されていった。

R Iは、1948年に職業奉仕委員会を廃止し、1963年の「職業分類の概要」の発行を最後に職業分類への関与からも手を引いてしまい、I Rのプログラムから職業奉仕は消えてしまった。

ところが、1987年R Iに職業奉仕委員会が約40年ぶりに復活し、あらたに「職業奉仕に関する声明(Statement on Vocational Service)」が出されました。内容としては職業倫理を重視したものであることに変わりないが、次の二つの点でロータリーの職表奉仕の歴史上大きな転換点となった。一つは、クラブにおける職業奉仕の具体的活動指針を示し、かつ奨励したこと、これはクラブ自体も職業奉仕(事業)をすることを意味する。

もう一つは、「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること」という記載。これは「職業人が自己の職業上の知識や技術を活かして社会に奉仕すれば、それは職業奉仕である」という意味。「職業人としての社会奉仕が職業奉仕」であるということ。

しかし、この職業奉仕に関する声明を発表したR I職業奉仕委員会は翌1988年廃止された。1989年「ロータリアンの職業宣言」が採択。これは「道徳律(職業倫理訓)」の復活を望む声に応え、それに代わるものとして採択されたと言われているが、内容的には「道徳律(職業倫理訓)」と同じものではない。

いずれにしても、ロータリーの歴史の中で、職業倫理は職業奉仕の大きな基盤の1つであったことは間違いない。もちろん、今も重視されているし、これからも大事にしていかなければならない。現在の職業奉仕の定義(標準ロータリークラブ定款:第6条の2)、「ロータリーの目的:第2」「道徳律(職業倫理訓)」、「大連宣言」など、いずれも共通するのが職業倫理である。